



第52回大阪ろうあ者スポーツ大会ケアボランティア報告

8月3日(日)、大阪市舞洲障がい者スポーツセンターにて「第52回大阪ろうあ者スポーツ大会」が開催されました。

当会からは開会式に堀口会長が臨席され、ケアスタッフとして私、岩津とスポーツ鍼灸プロジェクト委員長の松尾理事が参加しました。両名とも本大会への参加は今回が初めてです。

今年は、聴覚障害者の国際総合スポーツ大会「デフリンピック」が東京で開催される年ということもあり、会場は例年以上に熱気と笑顔に包まれていました。モルック、スポーツクイズ、パン食い競争、ボッチャ、スプーンリレーなど、多彩な競技が行われ、選手や応援者の一体感が会場全体を盛り上げます。

ケアブースにも多くの方が訪れ、私と松尾理事は終始、ストレッチやパイオネックスZero(円皮鍼)を用いた施術にあたりました。施術は大変好評で、「身体が軽くなった」「痛みが和らいだ」と喜びの声をいただきました。また、株式会社セイリン様よりご提供いただいた「凝りスポット」もお土産としてお渡しすると、「家でも使ってみます」と笑顔で受け取っていただけました。ここに改めてお礼申し上げます。

施術の合間には、日常生活でできるセルフケアやストレッチの方法についてもお伝えし、参加者一人ひとりとの交流を大切にしました。ろうあ者の方々とのやりとりは、手話や筆談、表情、身振り手振りなど多様な方法で行いましたが、皆さんの明るく前向きな姿勢に触れ、不安はすぐに解消されました。会話だけでなく、温かい雰囲気そのものが互いの距離を縮めてくれることを改めて実感しました。

今回の活動を通じて、競技を楽しむ姿やケアを受けて笑顔になる瞬間に立ち会い、鍼灸が地域の健康や交流を支える力を再認識しました。今後もこうした活動の積み重ねが、地域社会との信頼関係を深め、鍼灸の魅力と可能性を広めていくと信じています。



CONTENTS

F1 第52回 大阪ろうあ者スポーツ大会
ケアボランティア報告

F2 第42回 吹田市みんなの健康展
参加報告

令和8年 新年互礼会について

F3 一泊研修会
公益社団法人大阪府鍼灸師会
主要行事予定表
協賛会員大募集!

F4 府民公開講座のお知らせ
スポーツ鍼灸プロジェクト委員会より
スポーツボランティア募集のお知らせ

F5 【学術講習会報告】
「下肢障害で悩める人をゼロに
近づける」

F6 【学術講習会報告】
「基礎から学べる鍼通電療法、
電気温灸器概要」

F7 霊枢勉強会報告

F8 令和7年度
10月・11月・12月研修事業のご案内

第42回 吹田市みんなの健康展 参加報告

大阪府鍼灸師会吹田地域 池永亮一

2025年9月6日・7日の2日間、吹田市のメイシアターで『第42回 吹田市 みんなの健康展』が開催されました。

健康展には第1回目から参加させていただいているので、今回で42回目の参加となりました。

内容としては、健康相談のブースを設置。訪問者に簡単な問診票を記入していただき、それぞれのニーズに沿ったお話、小児鍼やパイオネックスの体験等をしていただきます。毎回、熱心な先生方にご参加いただいていることもありリピーターの方も多く、また、今年は健康展に参加されているスタッフの方々も多数相談に来ていただきました。

健康展に参加して、様々な悩みを抱えているけど相談先もわからなくて苦しんでいる方が多くいることを感じました。そんな方々が鍼灸師会のブースに来られて、笑顔で帰って行かれることに鍼灸の意義を感じることができました。また、そういう鍼灸を普及させていかないといけないと改めて感じました。

最後に、ご参加いただいた先生方、本当にありがとうございました。



令和8年 新年互礼会について

法人管理委員会

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当会の活動につきまして格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて新年互礼会を下記の通り開催いたしますので、ご繁忙のこととは存じますが万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようお願い申し上げます。

また、本年に在籍50年に到達された先生方に永年在籍表彰を執り行う予定になっております。該当される先生には別途招待状をお送りします。

日時

令和8年1月4日 日曜日
17:30 受付
18:00 開宴予定

会場

シティプラザ大阪（大阪市中央区）
2階「SYUN-旬-」

会費

今のところ未定

★永年在籍表彰対象の先生は
ご招待となります

★未定のところにつきましては、決まり次第ホームページ・いかなごう・フレッシュ12月号等でお知らせいたします。



一泊研修会

8月9日(土)・10日(日)京都の聖護院御殿荘にて理事・監事・地域代表者一泊研修会が行われました。
日本接遇教育協会理事のうぐ森まる美先生をお招きして接遇マナーについて学びました。

『接遇マナー & コミュニケーション研修を受けて』

うぐ森まる美先生のお話は、私たち開業鍼灸師に限らず、患者さんと接する全ての従業員にとっても、こちらの真心や誠意を伝えるツールとして学ぶべきコミュニケーション能力であるとよく理解できました。研修ではペアになり、実践的な学習を通して更に自分自身を客観視できる興味深く楽しい内容でした。今回、地域代表の代打で研修に参加したのですが、接遇マナーを習得することは自分自身のスキルを磨く非常に良い機会であり貴重な体験ができありがたい経験となりました。

(東大阪地域 永澤裕代)



公益社団法人 大阪府鍼灸師会 主要行事予定表 (9月17日現在)

1. 令和7年10月予定

日	曜日	主要行事	場 所	開催時間
4～5	土～日	日鍼会 全国大会inいばらき	つくば国際会議場	11:00～ (受付10:00～)
8	水	民生労災審査会・相談会	会館2階	15:00～17:00
12	日	霊枢勉強会	会館3階+WEB配信	10:00～
19	日	民生労災新規取扱い講習会	会館3階	10:00～

2. 令和7年11月予定

日	曜日	主要行事	場 所	開催時間
9	日	府民公開講座	筋トレデイサービス くろーばー	9:00～
9	日	霊枢勉強会・学術研修会	会館3階+WEB配信	10:00～
13	木	第5回正副会長会議	会館2階	20:00～
16	日	第6回理事会	会館4階	10:00～
16	日	第2回地域代表者連絡会	会館4階	15:30～

3. 令和7年12月予定

日	曜日	主要行事	場 所	開催時間
5	金	会費引き落とし日		
6	土	民生労災審査会・相談会	会館2階	15:00～17:00
14	日	霊枢勉強会	会館3階+WEB配信	10:00～
14	日	学術研修会	関西医療学園専門学校+WEB配信	13:00～
27	土	事務局仕事納め		

協賛会員 大募集！

大阪府鍼灸師会では、鍼灸業界をともに支えていただける 協賛会員を募集しています。協賛いただいた個人・企業・団体様には、以下の特典をご用意しております。

- 当会ホームページでのリンク掲載
- メルマガ・広報誌にて広告・お知らせを発信
- 会員への情報提供や認知拡大の機会

会費は年間 30,000 円です。
鍼灸メーカー様、鍼灸専門学校・大学、関連企業様など、業界と深くつながるチャンスとしてぜひご検討ください。

お申込み・お問い合わせは

大阪府鍼灸師会 事務局まで

府民公開講座のお知らせ

介護保険って聞いたことはあるけど、実際にはどうやって使うの？
手続きは難しいの？誰に相談したらいいの？

そんな疑問に、介護保険に詳しい講師が堅苦しくなく、わかりやすくお伝えします。

また、元気に歳を重ねるための日々の養生法についても学べる講座です。

少人数制で行うため、質問もしやすく、わからないことをその場で解決できます。

ご家族やお友達と一緒にの参加も大歓迎です。

- 「介護保険が必要になる前に」 講師：北川肇先生
- 「介護保険の利用方法-養生法のご紹介-」 講師：永澤至子先生

日時

2025年11月9日（日）
9:00～12:00（受付開始 8:30～）

会場

筋トレデイサービス くろーばー
（大阪市生野区鶴橋 2 丁目 11-25）

参加費

無料（大阪府民の方ならどなたでも参加可能）

お申込み・お問い合わせは

公益社団法人大阪府鍼灸師会

MAIL : daishinkai.fukyu@ gmail.com（担当：岩津）

令和7年度 公益社団法人大阪府鍼灸師会

府民公開講座

参加無料

開催のご案内

介護保険って聞いた事はあるけど・・・

いざ介護保険を利用する時に困らないようにわかりやすくお伝えいたします。
また、元気に歳を重ねる為の養生法についてもご提案させていただきます。

2025年

日時

11月9日（日）

9:00～12:00

（受付開始8:30～）

会場

筋トレデイサービス くろーばー

大阪市生野区鶴橋 2 丁目 11-25

会場地図はこちら→

誰に相談したら
良いの？手続きって
難しいの？手続きはどう
すればいいの？

講座内容

テーマ1（9:00～10:30）
「介護保険の利用方法」

講師 北川 肇先生
公益社団法人大阪府鍼灸師会 理事
法人管理委員（財務）



テーマ2（10:40～11:20）
「介護保険が必要になる前に」
- 日々できる養生法のご紹介 -

講師 永澤 至子先生
公益社団法人大阪府鍼灸師会 理事
地域ケア推進委員長



質疑応答（11:20～11:30）

介護の事、養生の事など何でもご質問して下さい。

お問い合わせ先 公益社団法人大阪府鍼灸師会 MAIL: daishinkai.fukyu@ gmail.com（担当 岩津）
TEL: 06-6351-4803（土日祝休み） 〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-6

参加無料

※大阪府民の方でしたら、どなた様でも無料でご参加いただけます。

ふりがな

氏名

生年月日 西・平 年 月 日（ ）歳

ご住所

連絡先

（ ）

スポーツ鍼灸プロジェクト委員会より
「スポーツボランティア募集」のお知らせ

大阪府鍼灸師会では、令和8年1月18日（日）「河内長野シティマラソン」、
2月22日（日）「大阪マラソン」にて、ケアサポートを行うスポーツボ
ランティアを募集します。

特に学生や若手鍼灸師にとって、リアルなスポーツ現場を体験できる貴
重な機会です。大会当日、ランナーの皆さんへ安心・安全なサポートを
提供できるよう、事前研修会（令和8年1月11日（日）、大阪府鍼灸
師会館にて開催）への参加が必要となります。

ストレッチ・テーピング・パイオネックスゼロ・電気温灸機などの実技
研修や英会話研修もあり、スキルアップにもつながります。

ぜひ多くの方のご参加をお待ちしています！

応募締切 令和7年12月15日（月）

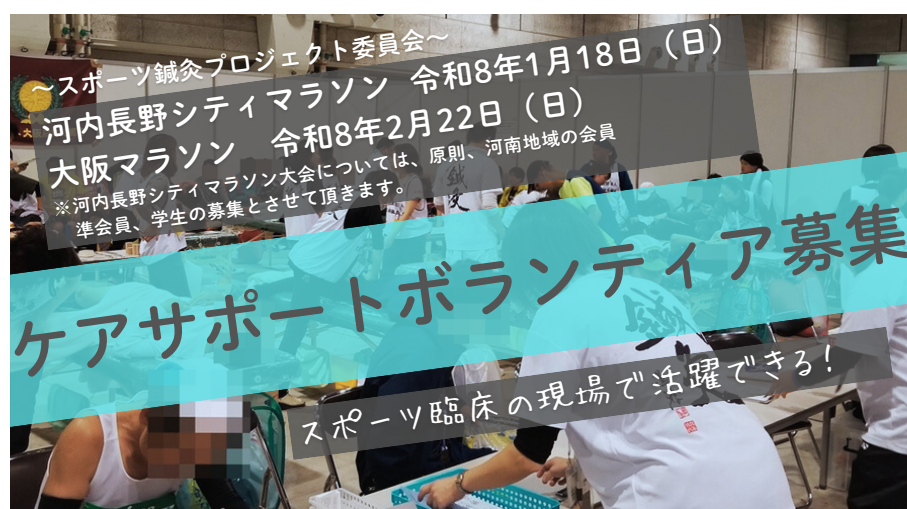
申込フォーム【会員用】 <https://forms.gle/3yGenF9C8qwfLanS8>申込フォーム【準会員・学生用】 <https://forms.gle/wKSLDXV4niiQeEPcA>

申込・お問い合わせ

公益社団法人大阪府鍼灸師会

MAIL : daishinkai.fukyu@ gmail.com（担当：岩津）

（※詳細はポスターをご覧ください）



是非、ご参加ください！

参加を希望される会員・準会員・鍼灸学生には、ランナーの方々に安心・安全に
サービスを提供できる様に下記日程の研修会に参加していただきます。

研修会場 大阪府鍼灸師会館（大阪市北区松ヶ枝町6-6）

日程 令和8年1月11日（日）

内容

10:00～11:00	大会当日の重要事項申し合わせ
11:00～12:00	問診
12:00～12:30	休憩（昼食）
12:30～14:30	英会話研修
14:30～16:30	実技研修

※実技研修の内容はストレッチ・テーピング・パイオネックスゼロ
セラミック電気温灸機の実践
※服装はジャージ等動きやすい格好（会館での着替えは可能）

条件

原則参加 ※鍼灸学生は参加必須

△インフルエンザ・新型コロナウイルス等、感染症の影響による延期中止の可能性あります。
△各マラソン大会ボランティアの参加人数をこちらから制限する場合があります。
上記△をご理解・ご了承の上お申し込みください。

参加申込
受付中

質問のある方は
daishinkai.fukyu@ gmail.com
岩津までお願いします。

申し込みはこちらのフォームから→

◎募集締切-令和7年12月15日(月)まで

会員用

準会員・学生用



公益社団法人大阪府鍼灸師会

「下肢障害で悩める人をゼロに近づける」

日本足病学協会 理事 Genki Style鍼灸整骨院 院長
岩井 元気 先生

外反母趾や変形性膝関節症（膝OA）は、テーピングや運動療法、装具など多角的なアプローチが可能な整形外科疾患である。今回の講演では、岩井元気先生が病態理解に基づく治療法の考え方について解説された。

（大阪府鍼灸師会研修委員 川口 直秀）

外反母趾は母趾が中足趾節（MTP）関節で小趾側に曲がり、外反母趾角（HV 角）が 20 度以上の状態を指す。診断は足部背底 X 線で HV 角と M1-M2 角を測定し、変形度を分類する。類似疾患には強剛母趾、関節リウマチ、種子骨障害がある。発症要因は足部のオーバープロネーションで、アーチの潰れにより母趾への荷重が増し、変形が進行する。

治療は靴治療、運動療法、装具療法、薬物療法を経て、必要に応じ手術が選択される。

膝 OA は 50 代日本人の 3 人に 1 人が罹患する疾患で、膝関節が横方向ストレスに弱い特性に不適切な歩行習慣が加わり、軟骨がすり減ることで発症する。治療方針として、股関節を正しく使った歩行や歩行速度を上げ横方向への負荷を減少させることが重要である。

歩行由来の疾患は歩き方を改善しなければ根治しない。外反母趾・膝 OA では靴療法が基本であり、縦のサイズ（レングス）と周径サイズ（ウィズ）の正確な計測が必要となる。

良い靴の条件はかかとがしっかりしていること、つま先だけが曲がること、靴がねじれないことの三点である。さらに適切なインソールの使用により圧力が分散し、症状改善が期待できる。

鍼灸治療では筋緊張を緩め、経絡を整える目的で経穴を選択する。

仰臥位では陽陵泉（三腓骨筋）、三陰交（長趾屈筋）、築賓（ヒラメ筋）、豊隆（前脛骨筋）、光明（腓骨筋）などを使用し、気が集まり散りやすい陽経の絡穴を用いる。

伏臥位では風市（腸脛靱帯、大腿二頭筋）、崑崙（短腓骨筋）、飛揚（腓腹筋）、臀部硬結などを用い、風市は臀部の力を引き出す目的がある。施術には寸 3 の 1 番鍼を 2～3mm 刺入し、5～10 分置鍼する。

灸治療では跗陽、復溜（Kager's fat pad）、解溪（距骨前脂肪帯）などを用い、脂肪帯の滑走性を高める。奇数壮で補法を行い 5～10 分施灸する。

根本治療には「カラダ（鍼灸・物理療法）」「モノ（シューズ・インソール）」

「プラン（栄養、休養、運動計画）」の三要素が必要である。歩行で生じた症状は歩行から改善しなければならない。年齢や筋力の変化により従来の靴が合わなくなる場合もあるため、定期的な計測と歩行評価が不可欠である。

本講演を通じ、鍼灸師としては経絡治療を通じた筋緊張緩和と疼痛軽減を行いつつ、靴選びや歩行指導を含めた多面的な治療プランを提案することが求められると再確認した。



「基礎から学べる鍼通電療法、電気温灸器概要」

株式会社メディカルアート 代表取締役
つばい鍼灸接骨院 院長
坪井良寛 先生

古代にはシビレエイや電気ナマズを用いた治療が行われ、治療家は徒手療法や物理療法に加えて電気エネルギーを活用してきた。現代ではオームパルサー、ピコリナ、エスプリなど多様な鍼通電機器や電気温灸器が登場しているが、その性能を十分に理解し臨床で活かしている治療家は少ない。本セミナーでは、最新鍼通電機器の高度な機能と、設定次第で多様な効果を引き出せる可能性について詳しく学ぶことができた。

(大阪府鍼灸師会研修委員 川口 直秀)

鍼通電には禁忌が存在し、患者に不利益となる行為は避ける必要がある。

禁忌対象は、ペースメーカー装着者、知覚脱失のある者、循環障害者、重篤な動脈疾患のある者、妊婦、原因不明の発熱、強い皮膚疾患を有する者である。さらに、使用する鍼通電機器の添付文書を必ず確認し、メーカーの指示に従わなければならない。

周波数は1秒間に発生する電気刺激の波の回数で、単位はHzで表される。

鍼通電療法では波形が治療効果や刺激感に影響し、矩形波や棘上波が基本だが臨床では多様な波形が使用される。波形の違いはプラス・マイナス電流の流れ方によって生じ、刺激の強さや体感が変わる。特にマイナス極は強い刺激として感じられるため、波形の性質を理解して使い分けることが求められる。

周波数は治療効果を左右する重要な要素である。内因性鎮痛機構には内因性オピオイド系とゲートコントロール理論がある。低頻度刺激(2~5Hz)はエンケファリンとβエンドルフィンを放出し、効果発現には20~30分かかるが持続時間は長い。

高頻度刺激(50~100Hz)はダイノルフィンを放出し、30秒程度で効果が出るが終了後は効果が急速に消失する。ゲートコントロールは脊髄分節性鎮痛であり、痛み部位に刺激を与える必要がある。

パルス幅は1回の刺激が持続する時間で、短いパルス幅では鋭い刺激が感覚神経を優位に刺激し、長いパルス幅は深部まで到達し運動神経や筋肉を刺激する。鍼通電では患者の体感と治療目的に応じて調整することが重要である。

臨床で使用するモードには、一定リズムのコンスタント、設定範囲内で周波数が変化するスウィープ、刺激を穏やかに変化させるモジュレーションがある。患者の感受性に合わせた選択が求められる。

定電流方式の機器は皮膚抵抗が変わっても一定の電流を維持するため、治療効果が安定する。電流は水の流れる量、電圧は水の勢いに例えられ、理解が容易である。

微弱電流療法は、創傷や急性外傷の修復を目的とし、50~100μAの微弱電流がATP生成を促進し組織修復を助けると報告されている。

温熱療法は表在温熱療法と深部温熱療法に分けられる。ホットパックや灸は表層のみを温め、深部組織には届かない。深部治療が必要な場合は超音波やラジオ波などの機器を用いる必要がある。温熱療法では温度管理も重要で、43℃を超えると痛覚受容器が働き、治療効果が損なわれる。

電気温灸器は匂いがなく火傷のリスクも低い。また、機器ごとの禁忌事項が存在し、添付文書を確認の上で使用する必要がある。



霊枢勉強会報告

〈講師〉日本鍼灸研究会代表 篠原 孝市 先生

〈会 場〉大阪府鍼灸師会 会館3階

第51回

令和7年(2025年)7月13日(日)

会員(準会員含む)20名 会員外(日鍼会・全日学会員含む)13名 学生13名
*7月度は会場14名、ネット配信での受講が32名でした。

○『黄帝内經靈樞』 血絡論(けつらくろん) 第三十九章 第一章

○25 岐伯曰。 26 脈氣盛而血虛者。 27 刺之則脱氣。 28 脱氣則仆。

25 岐伯(きはく)曰(いわ)く、26 脈氣(みやつき)盛んにして血虚(けつきよ)する者は、27 之(これ)を刺せば則(すなわ)ち氣(き)を脱(だつ)す。28 氣(き)を脱すれば則(すなわ)ち仆(たお)る。
(解説)
*26節の「血虚(けつきよ)」であるが、これを簡単に言うと、からだの中に流れている血(ち)が出血によって少なくなったということである。 血が少なくなった状態は、同時に氣(き)が少なくなったという状態をまねく。
*27節の「脱氣(だつき)」というのは氣虚(ききよ)と同じものである。 氣虚(ききよ)の最初は、頭がぼんやりする。 その次に意識が昏迷(こんめい)する。 ここでは血(ち)を抜くことで氣虚(ききよ)になった、ということなのだろう。
*經脈(けいみやく)の中に氣(き)と血(ち)があって、それらは相互依存の関係にある。 その両方ともが虚(きよ)したために、倒れるというふうに洪江抽齋(しぶえ ちゅうさい)は見ているのだろう。 しかし私たちは、それだけでは、とても満足はできない。 この文章は瀉血(しゃけつ)をした時に倒れる人が居て、その時の解釈をしているのだろう。 瀉血(しゃけつ)して出血した状態を、血虚(けつきよ)と見て解釈している。 脈の氣(き)は盛んではあるが血虚(けつきよ)している時には、刺してさらに血を出すと、氣(き)も同時に抜くこととなる。 それで倒れてしまうと、そんな解釈をしているのだと思う。 しかし、あまり具体性があるようには思えない。
*澀江抽齋(しぶえ ちゅうさい)は張志聰(ちようしそう)の注を引いている。

張志聰曰、「此言經脈之血氣、皮膚之氣血、皆出于胃府水穀之精、而分走其道、所當和平者也。若經脈之脈氣盛、而皮膚之血氣虛者、刺之則脱氣、脱氣則仆矣。」

*上記の文章の言いたいことは、おおむね、こんな感じかと思う。

まず氣血(きけつ)というものを經脈(けいみやく)の血氣(けつき)と、皮膚の氣血(きけつ)の二つに分けて考えている。 からだの深い部分にある、經脈(けいみやく)の血氣(けつき)というものは盛んである。 そしてからだの浅い部分にある皮膚の氣血(きけつ)は虚している。 そういう場合に針を刺すことによって氣(き)が脱してしまい、その人は倒れてしまう。 そんなふうに視ている。 氣血にはからだの浅い部分のものと、深い部分のものの両方があると、そん

な見方を採っている。この考え方が正しいかどうかは何とも言えない。しかしこのような解釈をした人もいたのだな、ということはわかる。

○29 血氣俱盛。30 而陰氣多者。31 其血滑。32 刺之則射。

29 血氣(けつき)俱(とも)に盛んにして、30 陰氣(いんき)多き者(もの)は、31 其(そ)の血(けつ)滑(かつ)なり。 32 之(これ)を刺せば則(すなわ)ち射(い)る。
(解説)
*32節の「之(これ)を刺せば則(すなわ)ち射(い)る」というのは、針を刺せば血(ち)が噴き出すということを言っている。 血(ち)が噴き出すという状態は、血氣(けつき)ともに盛んな状態である。 30節と31節を読むと、陰(いん)の氣(き)が多くて、その血(ち)が「滑(かつ)」という状態である。 血(けつ)と氣(き)と陰氣(いんき)、この三つのものの関係がよくわからない。 特に氣(き)と陰氣(いんき)の関係が不分明なので、どういうふうに解釈されているか、ちょっと解りかねるところがある。

*楊上善(ようじょうぜん)と言う人は、このように注解を入れている。「陽氣多者、其血滑、刺之血射。此爲「陰氣多者」、陰多爲澀、故「陰」字錯也。」

これを訓読すると、このようになろうか。
楊上善(ようじょうぜん)曰(いわ)く、「陽(よう)の氣(き)が多ければ、其(そ)の血(ち)は滑(かつ)。陰(いん)の氣(き)が多ければ、其(そ)の血(ち)は澀(じゅう)と爲(な)す。故(ゆえ)に「陰(いん)」の字は錯(さく)、あやまっている。

*澀江抽齋(しぶえ ちゅうさい)はこのように記す。 善按楊氏説似未必。

*おおむね、こんなことを言っている。「わたしが按ずるには、楊上善(ようじょうぜん)の説は、注として引いてはみたものの、それを全面的に受け入れることはできない。」

*30節と31節の陰氣(いんき)と滑脈(かつみやく)の関係というものは、經文(けいぶん)だけでは解りかねる部分がある。

○33 陽氣畜積。34 久留而不寫者。35 其血黑以濁。36 故不能射。

33 陽氣(ようき)蓄積(ちくせき)し、34 久しく留(とど)

まりて寫(しゃ)せざる者(もの)は、35 其(そ)の血(ち)黑(くろ)くして以(もつ)て濁(にご)る。36 故(ゆえ)に射(い)ること能(あた)わす。
(解説)
*張志聰(ちようしそう)はこのように言っている。「此言經脈之内、皮膚之間、皆有此血氣、而有陰陽之分焉。經脈爲陰、皮膚爲陽。俱盛者、經脈外内之血氣俱盛也。如脈中之陰氣多者、其血滑、故刺之則射。如皮膚之陽氣畜積、久留而不寫者、其血黑以濁、故不能射也。」

【此(こ)れ經脈(けいみやく)の内(うち)、皮膚の間(かん)、皆(み)な此(こ)の血氣(けつき)有り。而(しか)して陰陽(いんよう)の分(ぶん)有るを言う。經脈(けいみやく)は陰(いん)爲(た)り。皮膚は陽(よう)爲(た)り。俱(ともに)盛んなる者(もの)は、經脈(けいみやく)の外(そと)内(うち)の血氣(けつき)俱(ともに)盛んなり。脈中(みやくちゅう)の陰氣(いんき)多きがごとき者(もの)は、其(そ)の血(ち)滑(かつ)なり。故(ゆえ)に之(これ)を刺す則(すなわ)ち射(い)る。皮膚の陽氣(ようき)畜積(ちくせき)するがごときものは、久しく留(とど)まりて寫(しゃ)さざる者(もの)は、其(そ)の血(ち)黑(くろ)くして以(もつ)て濁(にご)る。故(ゆえ)に射(い)ること能(あた)わす。】

*彼は、經脈(けいみやく)および皮膚の間に血氣(けつき)があると言う。

*からだの深いところにあるもの、それは血がたくさんある状態で瀉血(しゃけつ)すると、血が噴出して来る。 皮膚のところにある陽(よう)の氣(き)というものは血の色が黒く変化するのだと言っている。 血が噴出するものと、噴出はしないけれど血の色が黒くにござって滞るものの二種類に分けている。

*『靈樞』の森を歩いてみませんか。 毎月休まず第二日曜午前10時から12時まで、大阪府鍼灸師会館3階です。 勉強会の案内につきまちは本会ホームページをご確認下さい。 次回は 9月14日(日)、『靈樞』『陰陽清濁(いんようせいだく)』第四十) です。

(靈樞のテキスト〈日本内経医学会 発行、明刊無名氏本〉は現在1冊の在庫があります。1冊1,600円です。受講申し込み時、または当日、受講受けにてお問い合わせください)

(靈枢勉強会世話人 東大阪地域 松本政己)

第52回

令和7年(2025年)8月10日(日)

〈出席者〉会員(準会員含む)13名 会員外(日鍼会・全日学会員含む)22名 学生6名
*8月度は会場17名、ネット配信での受講が24名でした。

○八月特別講義 『五蔵診察について』

○五蔵診察を考えるためのメモ (配布資料23ページ)

** () 内のふりがなは配布資料にはありませんが、読んでもらいたくて、入れています。(松本)

○06 経絡治療と古典の五蔵病證(ごそうびようしょう) ―――五蔵(ごそう)は症状で診る、その効果判定は、問診などの外からの観察による。経絡治療の経絡は脈状(浮沈虚実)で診る、その効果判定は、脈状の変化を第一とする。その接点是何か。

*接点は、今のままでは無い。
*たとえば、手の大陰(たいいん)の経脈が虚(きよ)した場合に、咳(せき)が出ることは少ない。 しかし五蔵病(ごそうびよう)のしるしとしては、これはおそらく肺の実熱(じつねつ)であろう。 これは症状が重い。 そういうふうに見るしかないのではなからうか。 接点を考える時は、関係するけれど関係しないという観点から観るしかないと思う。

○07 五蔵(ごそう)の虚実寒熱(きょじつ・かんねつ)が、六部定位(ろくぶじょうい)脈診の経脈の虚実と一致するならば、脈診は必要ない。ただし、五蔵病證(ごそうびようしょう)は症状が無いと、病態を判定できない。

*今の五蔵病證(ごそうびようしょう)は症状がないと病態は判定できない。五蔵の病證(びようしょう)は脈状でわかるのではないかとされているが、それは副次的に脈診をしているだけに思う。六部定位(ろくぶじょうい)脈診の虚実と一致しているということはないと思う。それは別のものだと言える。

○08 経絡治療は、症状が無くても、脈状の浮沈虚実があれば病態(證)を決めることができる。その病態(十二経の虚実)と蔵府病證(そうふびようしょう)の関係は何か。

*手の大陰肺経(たいいんはいけい)の虚証では多くの場合、喘咳(ぜんがい)は出ない。 手の大陰肺経(たいいんはいけい)が虚して、手の陽明大腸経(ようめいだいちょうけい)が実しているというふうに経脈(けいみやく)がなった場合には、肺の病證(びようしょう)としての喘咳(ぜんがい)が出ることがある。 わたしは、そういう関係だと思っている。 肺と大腸の関係で、肺に来て大腸が実(じつ)するような関係、本格的な実の状態になった時に肺(はい)の蔵(ぞう)の病證(びようしょう)が起こる、そういうものではないかと思う。

*肝の病證(びようしょう)についても同様だと思う。 足の厥陰肝経(けついんかんけい)の虚証では普通、肝の蔵象(ぞうしょう)は起こらない。 肝(かん)が実(じつ)する状態になった時に、肝の蔵象(ぞうしょう)というものがあらわれるというふうに、今は考えている。

*蔵府(そうふ)のレベルと経脈(けいみやく)のレベルというものは、

そのような関係にあると思う。

○09 なぜ経絡治療は、経脈を操作して、蔵府(ぞうふ)を調整できるのか。

*経脈(けいみやく)と蔵府(ぞうふ)がつながっていると考えているからであり、それはそのとおりだと思う。しかし、その関係性というものは経脈(けいみやく)のありかたによって、たとえば陰の経脈と陽の経脈のありかたによって、あるいは陰の経脈と陰の経脈のありかたによって、蔵府(ぞうふ)の病證(びようしょう)が出るというような関係だと思う。蔵府(ぞうふ)の病證(びようしょう)と経脈(けいみやく)の病證(びようしょう)を結び付けるとするならば、それしかないと思う。

○10 五蔵(ごそう)と七竅(しちきょう)や皮・脈・肉・筋・骨との連関は、どういう連関か。

*七竅(しちきょう)は経脈のあらわれではなくて、五蔵(ごそう)のあらわれである。古典的には五蔵の目・耳・口・鼻あるいは、からだの皮毛であるとか、表皮からの深さである皮・脈・肉・筋・骨は五蔵の支配領域である。

**「七竅(しちきょう)」について『素問』『金匱真言論(きんきしんげんろんへん)』第四)から抜粋しています。(松本)

肝(かん):開竅於目【竅(きょう)を目に開く】、心(しん):開竅於耳【竅(きょう)を耳に開く】、脾(ひ):開竅於口【竅(きょう)を口に開く】、肺(はい):開竅於鼻【竅(きょう)を鼻に開く】、腎(じん):開竅於二陰【竅(きょう)を二陰(にいん)に開く】

○11 五蔵(ごそう)の〈作用〉とは何か。それはどのように臨床的に使うことができるか。 腎者。作強之官。技巧出焉。(靈蘭秘典論篇 第八) 腎者。主蛰封藏之本。精之處也。其華在髮。其充在骨。(六節藏象論 第九)

*現在の中医学の場合は、現代の医学のように五蔵(ごそう)の作用というものを設定し、現代医学のように病気を説明するということがある。 おそらく現在、中医学で大きく求められているものは、現代の医学による影響があるように思う。 五蔵六府(ごそうろくぷ)を現代医学のように考えて使うから、五蔵の作用という発想が出来るのだと思う。

*あくまでも症状や脈状からでしか、経脈(けいみやく)も五蔵(ごそう)も、遡及(そきゅう)できないものだと、わたしは思う。

*「腎(じん)は作強(さきょう)の官(かん)」というのが何かであるが、ここでは腎(じん)という実体の存否が問われる。 腎(じん)は作強(さきょう)の官(かん)という表出の中に、ある種の落とし穴があるように思う。『素問』の「靈蘭秘典論篇(れいらんひてんろんへん)第八」や「六節藏象論(ろくせつぞうしょうろん)第九」は新しい時代に書かれたものと言われている。二つの篇が、こういうかたちをしているのは、とても象徴的である。これらの篇が書かれる以前にまで遡(さかのぼ)って考えていかないといけないか、そんなふうに思う。

○12 背部俞穴(はいぶゆけつ)や腹部募穴でなぜ蔵(ぞう)の診察ができないのか。

*これは出来る可能性があると思う。

*背部の俞穴(ゆけつ)を触って、どのような状態であれば、たとえば肺俞(はいゆ)という穴(けつ)を触って、こんな状態であれば肺(はい)の実(じつ)であるとか、肝俞(かんゆ)という穴(けつ)を触って、このような状態であるから肝(かん)の実(じつ)だとか、肝(かん)の虚(きよ)だとか、そんなふうに診断することは出来るかもしれない。ここでは経脈(けいみやく)は関係しない。 蔵(ぞう)の診察はやろうと思えば出来るかもしれない。

*『難経(なんぎょう)』という本では、蔵府論的に募穴(ぼけつ)や俞穴(ゆけつ)を位置づけている。 だから出来ないことはないように思われる。

*『靈樞』の森を歩いてみませんか。 毎月休まず第二日曜午前10時から12時まで、大阪府鍼灸師会館3階です。 勉強会の案内につきまちは本会ホームページをご確認下さい。 次回は 10月12日(日)、『靈樞』『病傳(びょうでん)』第四十二) です。

(靈樞のテキスト〈日本内経医学会 発行、明刊無名氏本〉は現在1冊の在庫があります。1冊1,600円です。受講申し込み時、または当日、受講受けにてお問い合わせください)

(靈枢勉強会世話人 東大阪地域 松本政己)

！ 令和7年度 10月・11月・12月研修事業のご案内

令和7年度10月・11月・12月研修事業のお知らせです。
下記の要綱をご覧ください、会員の先生方におかれましては、
万障繰り合わせの上、ご参加お待ちしております。
詳細は、研修会案内をご参照下さい。

取得単位

(公社)大阪府鍼灸師会生涯研修〈2単位〉
(公財)東洋療法研修試験財団生涯研修講座〈2単位〉

受講料

※霊枢、学術 各々の支払いとなります

会 員:1,000円 (日鍼会・大鍼師会・柔整師会・全日本鍼灸学会の会員含む)

会員外:2,000円

学 生:無料

※会費種別は自己申告制です。運営から種別の確認があった場合、速やかに確認できる様にご準備下さい

参加申込み方法

先着順(会館参加 30名 WEB参加 300名)

QRコード・当会ホームページ manaable(マナブル) から
参加申し込み後、受講料をお振り込みにてお支払い下さい。

<https://harikyu.manaable.com/>



お申込み・お振込み締切

10月度 10月18日(水) ※お申込み開始は9月下旬より

11月度 11月 5日(水) ※お申込み開始は10月13日

12月度 12月10日(水) ※お申込み開始は11月10日

※申し込みは、事前参加申し込みと、入金の確認(WEB受講)で完了となります。

WEB参加の方は、参加申し込みと受講料お支払い後、運営からメールにて当日の「ZOOMミーティングURL」と「講義資料」、「Webセミナー利用手引き書」をお送りいたします。手続きに多少のお時間を頂きますので早めのご入金にご協力ください。資料につきましては必要に応じて各自印刷を事前に行っていただくようお願いいたします。

※WEBセミナー会場へのセキュリティ強化と入室をスムーズに行うため、申し込み時の氏名と振り込み時の氏名およびZOOM入室時氏名を統一して本名にてご登録いただきますようお願い致します。

※受講時ビデオonをもって単位認定いたします

※取得単位は、講習会終了後に当会にて登録作業を行います

※単位認定は講習前後15分以上の遅刻・退室により付与致しかねます。また受講状況により付与できない場合がございますのでご了承ください。

令和7年10月12日(日)		
10:00~12:00 霊枢勉強会 (ハイブリッド開催)	演題 ・霊枢勉強会 病傳 第四十二(ハイブリッド開催) 講師 篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表	大阪府鍼灸師会館 3階
令和7年11月9日(日)		
10:00~12:00 霊枢勉強会 (ハイブリッド開催)	演題 ・霊枢勉強会 淫邪發夢 第四十三(ハイブリッド開催) 講師 篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表	大阪府鍼灸師会館 3階
令和7年12月14日(日)		
10:00~12:00 霊枢勉強会 (ハイブリッド開催)	演題 ・霊枢勉強会 順氣一日分爲四時 第四十四(ハイブリッド開催) 講師 篠原 孝市 先生 日本鍼灸研究会 代表	大阪府鍼灸師会館 3階
13:00~16:10 学術講習会 (ハイブリッド開催)	演題 ・学術講習会(ハイブリッド開催・アーカイブあり) 「あらゆる疾患に対応できる鍼灸治療の組み立て方」 講師 中野 保二 先生 天堂鍼灸院 院長	関西医療学園専門学校 本館5階大ホール
※学術講習会の場所 と日時変更にご注意 ください	演題 ・学術講習会(ハイブリッド開催・アーカイブあり) 「長鍼を使用した深刺テクニックの醍醐味」(実技供覧) 講師 中野 保二 先生 天堂鍼灸院 院長	

※午後の研修のみ、関西医療学園専門学校、関西鍼灸短大、関西医療大学の卒業生は会場参加に限り無料になります。

卒業生は申込みの必要はありません。当日受付で参加可能です。(何年度卒業か申し出てください)

ただし、アーカイブ動画は付きません。

WEB参加を希望の場合有料となりますが、後日アーカイブ配信いたします。

■ ご不明な点やお問い合わせは『大阪府鍼灸師会』まで

E-MAIL : study@osaka-hari9.jp

(研修委員会 清藤)



いっしょに、いこう!
大阪・関西万博